

証券コード：6763

# 個人投資家向け 説明会資料



未来のNOBLEを見据えて  
抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

2022年9月9日

## ◆ 帝国通信工業(株)グループ概要

- 電子回路を制御する抵抗器やセンサー・スイッチなどの各種電子部品を「NOBLE」ブランドで国内・海外に展開している、総合電子部品メーカー。
- お客様からのご要望に応じた、カスタム製品から汎用電子部品まで、**独自技術を用いつつ一貫生産で対応できることが、弊社の最大の強み**となっている。

## ◆ 株主還元方針

- 新市場区分であるプライム市場を選択し、企業価値向上の取組みを実施。
- 中期経営計画期間中（2023年3月期～2026年3月期）は**1株あたりの配当金に下限を設定し、創業80周年にあたる2025年3月期には別途記念配当を予定。**

## ◆ 事業戦略：中期経営計画（修正版）

- 2021年5月に作成したものの、2022年3月期の想定以上の業績結果を踏まえ、本年5月に数値目標を見直し。ただし、基本的な経営方針は不変。
- 中期経営計画を**3段階のステップに分け、売上計画・投資計画・配当政策を組み込み、経営指標の目標値も開示**することで、より変革に向けた意思を「見える化」した計画になっている。

## ◆ 2023年3月期業績予想

- 急激な円安や地政学リスクを背景とした資材価格の高騰、コロナ禍での生産・物流の停滞が発生。
- 生産能力・組織力拡大に向けた、積極的な設備投資や人材増強によるコスト負担が増加傾向。
- 一方で**第1Qの実績は円安進行によるプラス面の影響もあり、売上高36億円、営業利益3億円と順調に推移。**加えて受注は概ね良好、かつ価格見直し交渉も継続して進めることから、**当初計画の連結売上高158億円を165億円に、連結営業利益13億円を15億円に上方修正。**

- 帝国通信工業(株)グループ概要
- 株主還元方針
- 中期経営計画（修正版）概要
- 業績ハイライト

# ●帝国通信工業(株)グループ概要

**NOBLE**

## ▶ 会社概要①～⑤

## ▶ 事業フィールド

## ▶ コア技術を活かした2つのビジネス展開

## ▶ 市場別主力製品

(ご参考) 成長市場-①医療・ヘルスケア

(ご参考) 成長市場-②産業機器・ロボット

(ご参考) 新技術領域の構築

## ▶ 弊社の特徴と強み

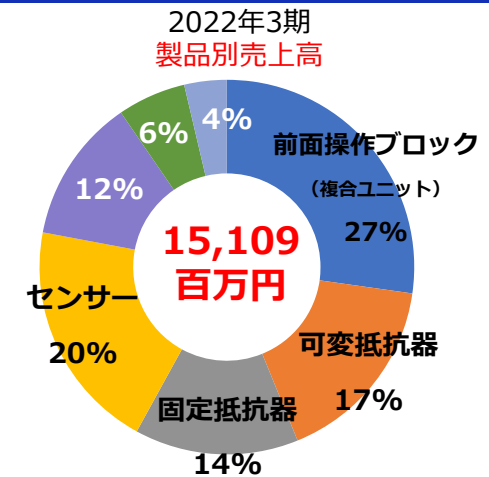
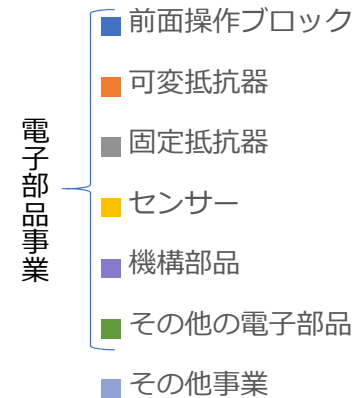
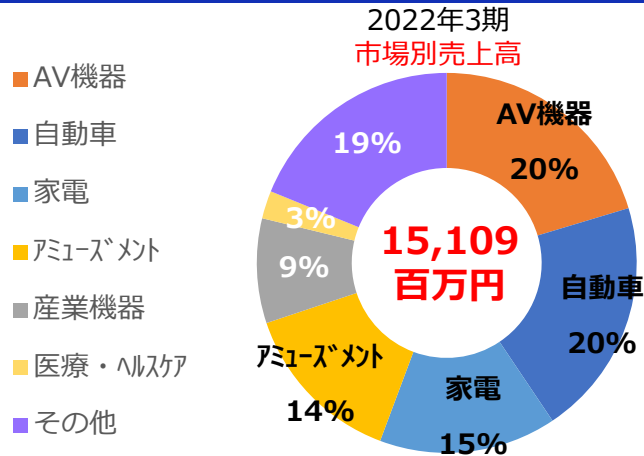
(ご参考) 具体的製造工程①～⑥

# 会社概要①：会社概要

# NOBLE

会 社 名	帝国通信工業株式会社 Teikoku Tsushin Kogyo Co.,Ltd.
本 社 所 在 地	神奈川県川崎市中原区荻宿45-1
創 業	1944年8月1日
代 表 者	代表取締役社長 羽生 満寿夫 (はにゅう ますお)
資 本 金	34億5300万円
従業員数(連結)	1,605名(2022年3月31日現在 連結)
連結売上高	151億円(2022年3月期 連結)
連結自己資本比率	81.9%(2022年3月期 連結)
グループ会社数	連結子会社 日本国内6社 海外9社 合計15社
事 業 内 容	電子回路を制御する抵抗器やセンサー、スイッチなどの各種電子部品を「NOBLE」ブランドで国内・海外に展開している、1944年に創業の総合電子部品メーカー

# 会社概要②：主な売上構成と主要取引先



## 【主要取引先】

エプソン、キヤノン、小糸製作所、コロナ、シャープ、ソニー、ソニーインタラクティブエンターテインメント、デンソー、東海理化、東芝、東洋電装、ニコン、日本光電工業、任天堂、日立製作所、パナソニック、パロマ、ホシデン、PHC、マレリ、ミツバ、三菱電機、村上開明堂、ヤマハ、リンナイ、A.O.SMITH、Behringer、Foxconn、Haier、Hisense、HIWIN、Valeo ほか (順不同 敬称略)

## ご参考

### ● 抵抗器とは？

- ▶ 抵抗器は流れる電気の量を制限したり調整したりすることで、**電子回路を適正に動作させる役割をもつ**大切な部品です。
- ▶ 主な役割
  - ・電流の調整：回路に合った電流量に調整
  - ・電圧の分離：大きな電圧を下げ、必要な電圧を抽出
  - ・発熱：電気をエネルギーを熱に変換

### ● 抵抗器の主な種類

- ▶ 固定抵抗器：抵抗値が一定。高精度が求められる回路に幅広く使用（自動車・産業機器等）
- ▶ 可変抵抗器：自由に抵抗値を変更でき、ボリューム調整等に使用（AV機器・家電等）
- ▶ 半固定抵抗器：一度調整したら抵抗値を固定する
- ▶ センサー：**応用技術** 抵抗器の機能を応用し、電流や熱量等を検知（アミューズメント・医療ヘルスケア等）

電気をコントロールする製品で、私たちのあらゆる生活基盤に密着し、活躍の場を広げています。

# 会社概要③：帝国通信工業グループ沿革



2022年8月 創立78年

1940・1950・1960・・・・・1970・・・・・1980・・・・・1990・・・・・2000・・・・・2010・・・・・2020・・・・

<ul style="list-style-type: none"> <li>終戦後の混乱期</li> <li>1944年8月 帝国通信工業(株)設立</li> <li>赤穂工場開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度成長期</li> <li>東京オリンピック</li> <li>カラーテレビ化による需要拡大</li> <li>飯田帝通設立</li> <li>東証2部上場</li> <li>現須坂帝通に資本参加</li> <li>台湾富貴電子設立</li> <li>福井帝通設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オイルショック</li> <li>CB無線による事業拡大期</li> <li>大証2部上場</li> <li>東証・大証1部に指定替え</li> <li>木曾精機設立</li> <li>帝通エンヂニヤリング設立</li> <li>シンガポールノーブル設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産台数世界一</li> <li>ファミコンブーム</li> <li>8ミリビデオ登場</li> <li>ノーブルUSA設立</li> <li>香港富貴電子設立</li> <li>ノーブルエレクトロニクス タイランド設立</li> <li>ノーブル貿易(上海)設立</li> <li>FILM基板採用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バブル崩壊</li> <li>新規ゲーム機の多様化</li> <li>ICB製品拡大期</li> <li>ミノワノーブル設立</li> <li>ノーブルプレジジョン タイランド設立</li> <li>ノーブル貿易(上海)設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーマンショックによる日本の製造業構造変革期</li> <li>デジタル家電の流行</li> <li>ICB製品拡大期</li> <li>ノーブルエレクトロニクス ベトナム設立</li> <li>ノーブルトレーディング(バンコク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災</li> <li>タイの大洪水</li> <li>アベノミクス</li> <li>民生用ICB製品衰退期</li> <li>富貴(淮安)電子設立</li> <li>組織再編</li> <li>タイ生産2工場を統合</li> <li>福井帝通とミノワノーブル合併</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的なコロナ流行</li> <li>東京オリンピック</li> <li>ウクライナにて地政学リスク発生</li> <li>新生NOBLE転換期</li> <li>プライム市場申請</li> <li>中期経営計画作成</li> </ul>
--	---	---	---	--	---	---	--



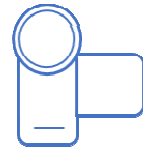
・スピーカー用可変抵抗器やトランジスタラジオ用ロータリースイッチを生産



・テレビ、ステレオ、テープレコーダー等の民生音響機器用の可変抵抗器を生産



・カーオーディオ等用のICB製品を生産



・家庭用ビデオカメラ向けICB製品を生産

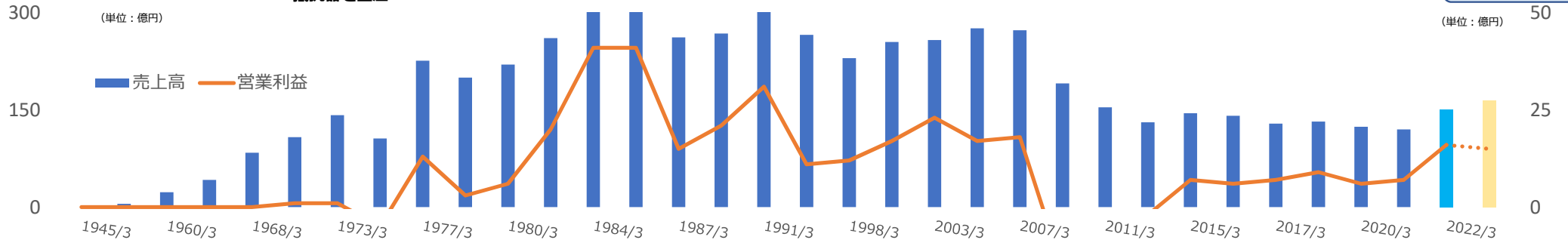


・デジタルカメラ等デジタル家電や生活家電・住宅設備向けICB製品を生産



・自動車用ICB製品やゲーム機・医療ヘルスケア用のセンサーを生産

2024年8月 創立80年



# 会社概要④：国内拠点の展開地域





# 会社概要⑤：海外拠点の展開地域

# NOBLE



## 暮らしに身近な分野から 高い信頼性が求められる医療や自動車産業まで



# コア技術を活かした2つのビジネス展開

# NOBLE

ICB製品 (Integrated Control Block)



## カスタムブランド

前面操作ブロックとして生産するICB商品は、当社独自のカスタムブランドだ。NOBLE-FPCを中心とした集積回路モジュールは、各種マーケットからの独自要求に対応している。



自動車



AV機器



ゲーム・  
ホビー機器



家電機器



医療・  
ヘルスケア



事務機器・  
産業機器

ディスクリート製品



## 汎用電子部品



可変抵抗器



センサ (抵抗式)



半固定抵抗器



エンコーダ



スイッチ



固定抵抗器



プラグ

# 市場別主力製品

## 可変抵抗式位置センサー

ヘッドライト角度調整

自動車



ドアミラー角度調整



エアコン温度調整



## 可変抵抗式位置センサー

カメラ交換用式レンズのズームや絞りの位置センサー



AV機器

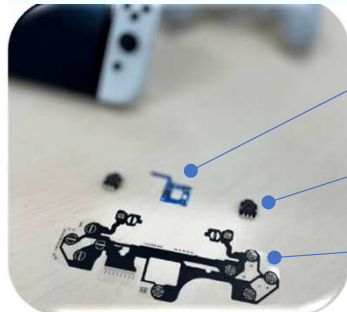


機構部品位置検出センサー

## 可変抵抗式位置センサー

NOBLE-FPC

ゲーム機器



スティック位置検出センサー

機構部品位置検出センサー

ボタン押し圧検出センサー

## 固定抵抗



ヒーター抵抗

電流検出抵抗

突入防止抵抗

家電



# (ご参考) 成長市場-①医療・ヘルスケア

# NOBLE

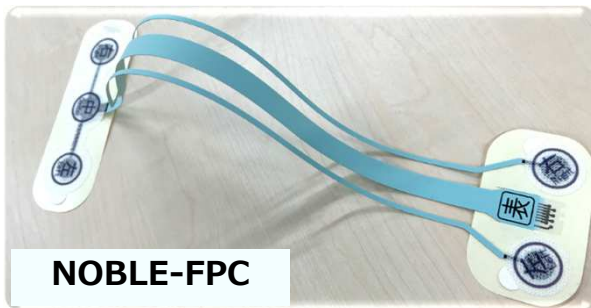
## 生体用電極 NOBLE-FPC



筑波大学発スタートアップとの連携  
スリープテックで社会貢献  
測定電極をフィルム化し従来よりも  
簡便に睡眠障害を早期に発見。



## ●心電・筋電の測定電極



NOBLE-FPC



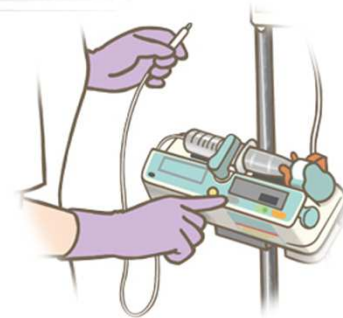
## 医療機器用 位置検出センサー

高い信頼性で医療機器にもご採用

ロングスライド型位置検出センサーXLSシリーズが好調。  
医療機器のDX化に伴い、リアルタイムモニタリングに  
ている。



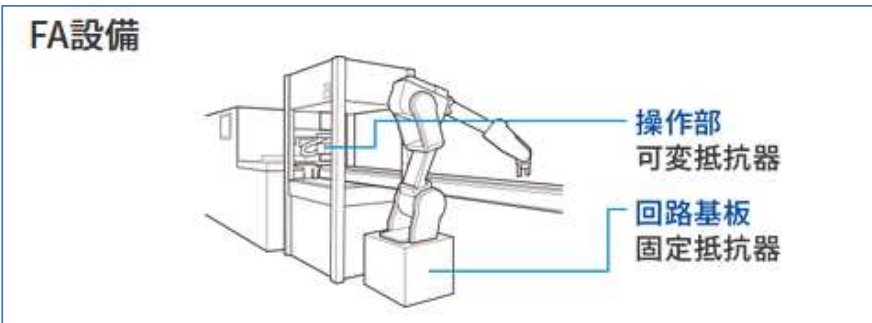
カスタム型・汎用型をラインナップ



# (ご参考) 成長市場-②産業機器・ロボット

# NOBLE

## 高耐久センサーシリーズ



## (新商品)1,000万回耐久を実現

光学式  
非接触エンコーダ



磁気式  
非接触ロータリーセンサー

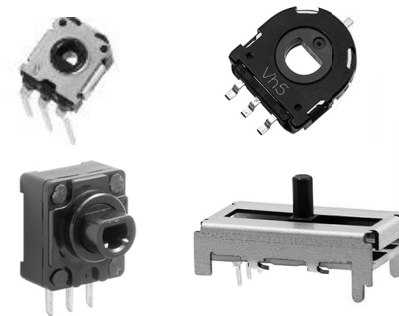


## 世界最小センサーシリーズ



## 市場の拡大に伴い受注拡大中

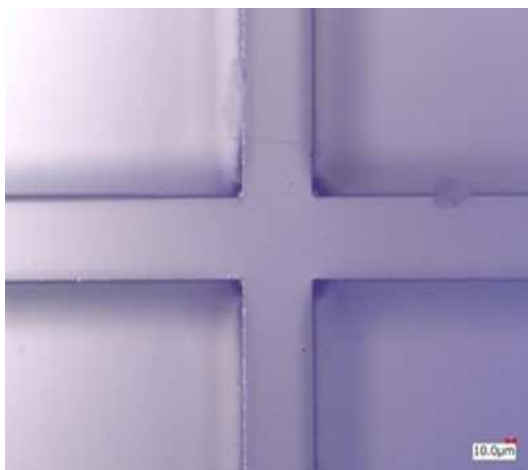
抵抗式  
高精度ロータリーセンサー等



- ◆ トренд分野への展開：5Gに関連した、通信・公共分野への参入
- ◆ 社会課題解決への貢献：防災、医療・ヘルスケア (MEMS)、介護分野への参入

## ◆ 医療・ヘルスケア

「マイクロ流路 微細加工」



## ◆ インフラ・通信・防災・公共事業

「静電容量式水位センサー」

静電容量フィルムセンサ

Film Integration Technology  
エレクトロニクスを自由にする技術  
PRINT TECHNOLOGY / FILM TECHNOLOGY

### 静電容量式水位センサ

» 技術概要 SUMMARY

静電センサフィルムを用いた水位検知デモシステムをご紹介します。  
静電容量検知とは世の中に一般的にあるタッチパネルの仕組みです。  
デモ機では容器の外側に貼りつけたセンサシートの高さ  
中の液体が達すると静電容量の変化を検知し、  
シートに実装したLEDと本体のインジケータが光って知らせます。



センサデモ機

「双方向無線通信技術 (時刻同期)」



# 弊社の特徴と強み

## 帝通の強み

幅広いニーズに応えるべく、独自のフィルム印刷と成型・プレス加工という2つの技術をコアに、設計・開発・アセンブリまで自社で一貫生産対応を基本に様々なオーダーにこたえられることが私たちの強みです。



### 製品設計

お客さまのご要望に合わせた、製品設計を行い、各種市場からの要求に応える

### 金型設計

金型の設計・加工を自社対応し、弊社独自加工の基礎を支える

### スクリーン印刷

フィルム・PCB基板への印刷を自社対応し、回路基板を製造する

### 成型・プレス

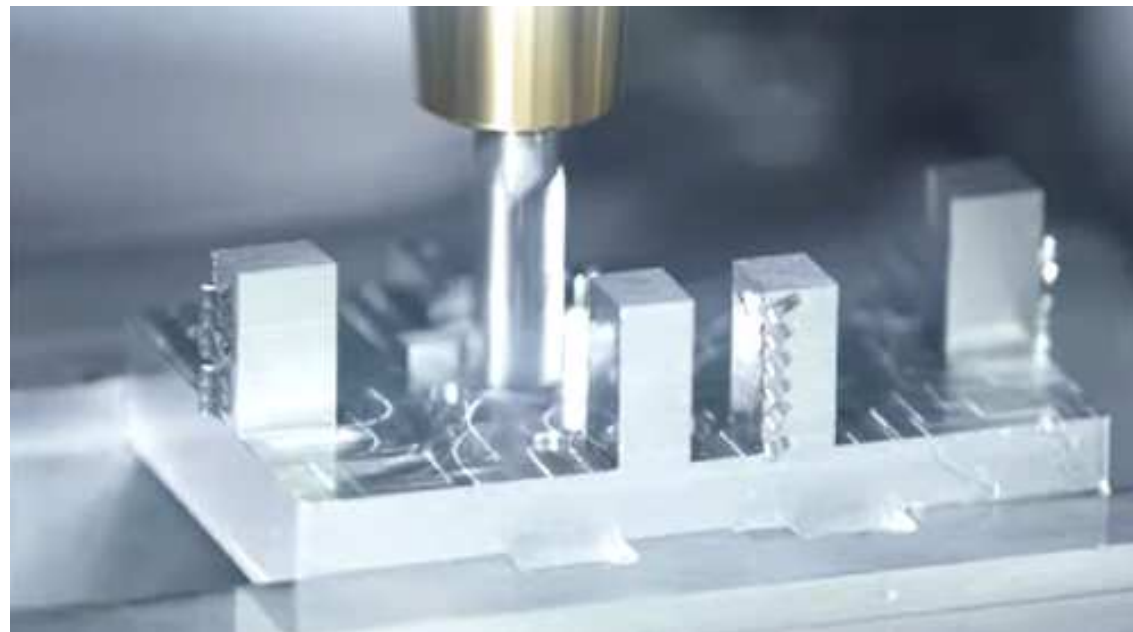
成型加工・プレス加工を自社対応する  
樹脂には塗装や印刷による加飾加工も対応

### 組立加工

部品製作・組立加工の設備構築もすべて社内に対応することで、高い信頼性を確保する

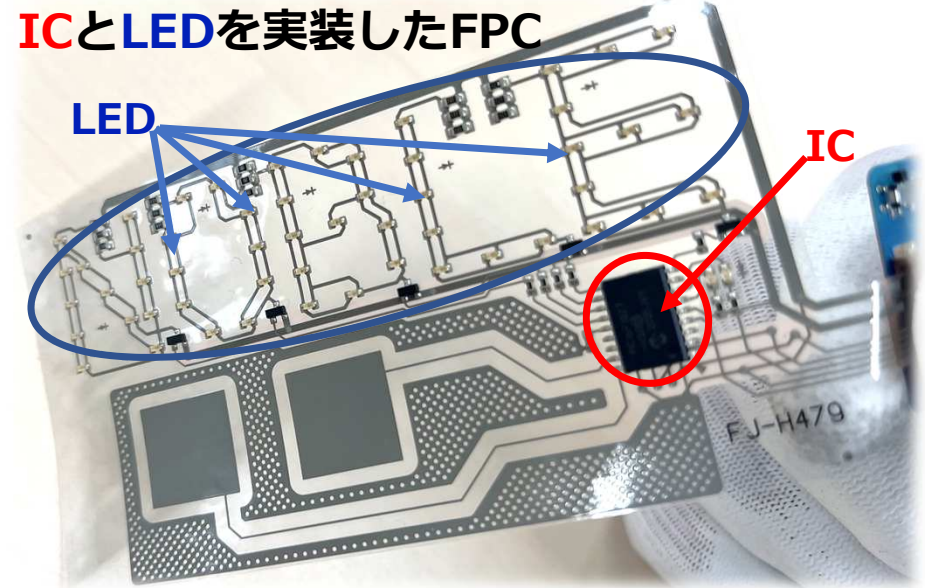


## 内製化された金型



自社で使用する成型金型、プレス金型を設計から加工まで対応。国内外に金型加工部門を保有。  
弊社独自の生産方式にマッチした自社オリジナル金型の加工を行い、各種難易度の高い一体成型や、  
高精度な部品加工を実現。

## NOBLEのFPC※1 (Flexible Printed Circuits)



電子回路を形成する場合、一般的に採用されるのはエッチング基板工法である。弊社が行うスクリーン印刷は、**必要な箇所だけにパターンを印刷し、回路形成をするため、製造時の廃棄物が少なく環境にやさしいことも特徴**となっており、基板に使用しているPETフィルムへの半導体などの部品実装※2も実現。

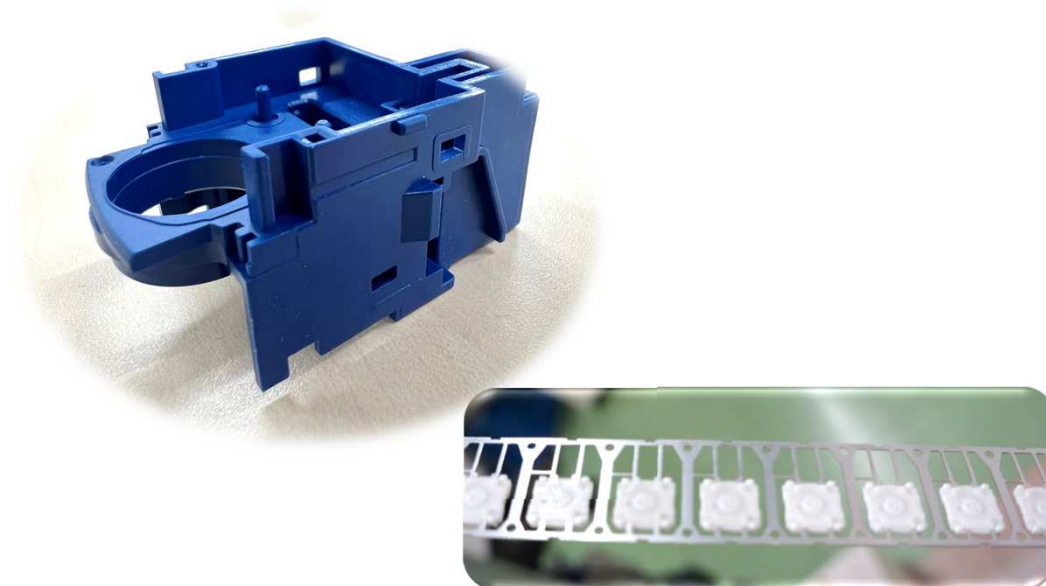
※1 FPC (Flexible Printed Circuits) : 曲げることのできるプリント基板 ※2 部品実装 : 部品を組み込むこと

# (ご参考) 具体的製造工程③：成型・プレス加工① NOBLE

## 樹脂成型Injection molding・金属プレスPrecision Press



〈国内外に各種樹脂成型機を保有〉

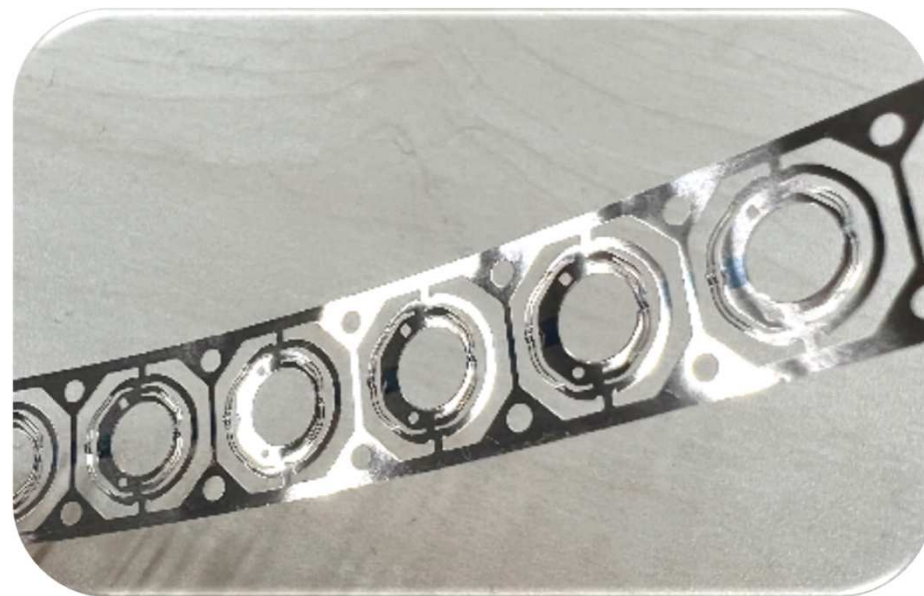
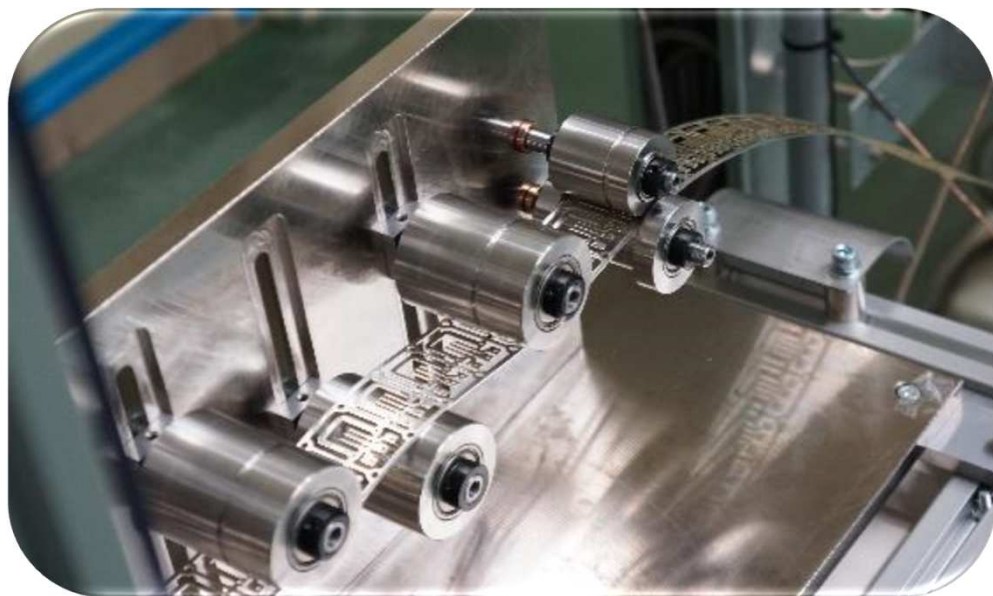


〈金属端子と樹脂の一体成型〉

様々な市場に向けて材料の選定や金型設計を自社で行い、精密機構部品や大型外装部品の生産、成型部品への塗装・印刷も対応する。また**弊社独自の技術としてFPCや端子を成型樹脂で一体化するインサート成型が高い評価をいただいている。**

# (ご参考) 具体的製造工程④ : 成型・プレス加工② NOBLE

Injection molding ・ Precision Press



**プレス加工は高速で微細な加工が特徴。電子部品の心臓部となる金属接点は、自社で開発し様々なニーズに対応可能。高耐久製品には、このプレス加工技術が不可欠。国内外主要工場にプレス機を保有する。またこのプレスを組み立て工程のラインに組み込む技術も、弊社独自の生産方式。**

# (ご参考) 具体的製造工程⑤ : 自動組立、品質保証 NOBLE

## Automation assembly / inspection



日本国内外とも人手不足は私たち製造業にとっては大きな課題である。  
弊社は常にお客さまに安定供給を行えるように、**高い生産技術力で工程の自動化**に取り組んでいる。

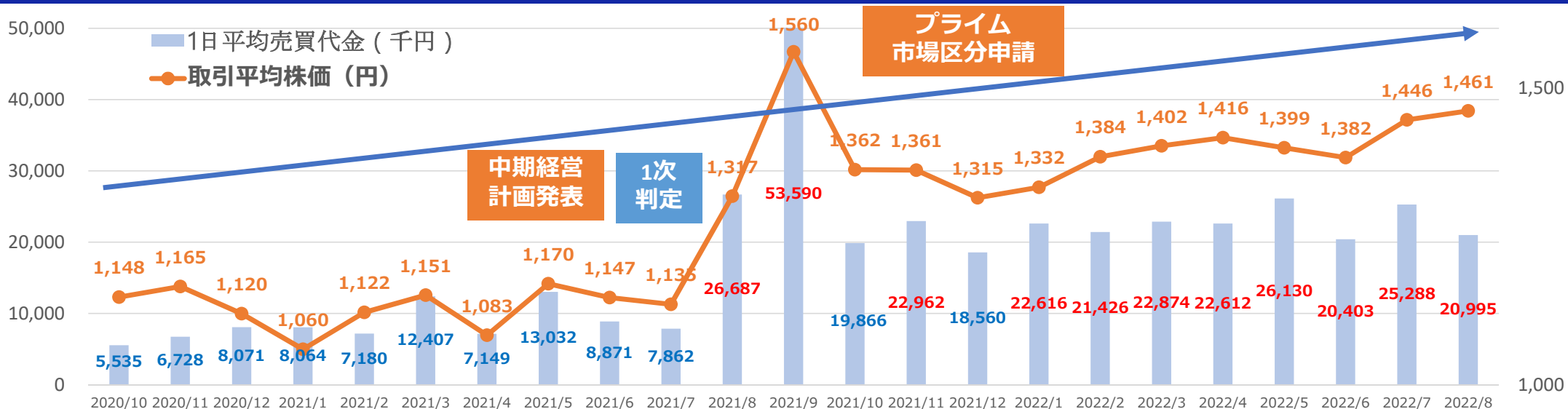


国内外の工場で、画像検査や電気チェッカーを導入し、**高い品質を保証**をする一方、認定検査員による、確かなジャッジがお客さまの信頼を得ている。

## ●株主還元方針

- ▶ プライム市場区分適合状況
- ▶ 投資参考指標
- ▶ 資本政策（利益還元）  
(ご参考) IR活動への取組み①～③

# プライム市場区分適合状況



項目	プライム市場 上場維持基準	経過措置	一次判定値 (2021/7/9)	一次 判定	2022/8/31時点 (自社算定)	任意 判定
(1)株主数	800名以上	800名以上	4,537人	適合	4,394人	適合
(2)流通株式数	20,000単位以上	10,000単位以上	79,777単位	適合	78,254単位	適合
(3)流通株式時価総額	100億円以上	10億円以上	90億円	不適合	<b>(22/6~8平均) 111億円</b>	<b>適合</b>
(4)流通株式比率	35%以上	5%以上	78%	適合	77%	適合
(5)売買代金	1日平均売買代金 20,000千円以上	月平均売買高 40単位以上(6か月)	8,210千円	不適合	<b>(年平均) 24,655千円 (22/6~8平均) 22,133千円</b>	<b>適合</b>

	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31	2022/3/31
売上高(百万円)	14,329	13,207	12,499	12,022	15,109
営業利益(百万円)	1,013	999	624	755	1,698
EBITDA(百万円)	1,716	1,632	1,301	1,452	2,474
純利益(百万円)	779	953	-84	755	1,582
総資産(百万円)	26,454	25,504	24,575	27,270	29,087
純資産(百万円)	22,133	21,663	21,202	23,063	24,348
自己資本比率 (%)	82.0	83.1	84.5	82.9	81.9
<b>ROA(%)</b>	<b>3.0</b>	<b>3.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>2.9</b>	<b>5.6</b>
<b>ROE(%)</b>	<b>3.7</b>	<b>4.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>3.5</b>	<b>6.8</b>
<b>PER(倍)</b>	<b>16.2</b>	<b>12.5</b>	<b>-138.8</b>	<b>14.3</b>	<b>8.9</b>
<b>PBR(倍)</b>	<b>0.58</b>	<b>0.56</b>	<b>0.56</b>	<b>0.48</b>	<b>0.59</b>
<b>EPS(円)</b>	<b>79.44</b>	<b>97.06</b>	<b>-8.55</b>	<b>76.74</b>	<b>161.60</b>
<b>BPS(円)</b>	<b>2,209</b>	<b>2,157</b>	<b>2,111</b>	<b>2,297</b>	<b>2,433</b>
一株当たり配当金(円)	50	50	50	40	60
配当利回り(%)	3.9	4.1	4.2	3.6	4.2
配当性向(%)	62.9	51.5	-	52.1	37.1



- ◆ 中期経営計画期間中の1株あたりの配当金を**下限60円**とする
- ◆ 創立80周年（2025年3月期）には**記念配当**を予定

- 2022年3月期（前期）
  - ・ 配当政策：営業CF17億円を計上し、**1株あたりの配当金を60円に引き上げ**
  - ・ 政策投資株式の縮減：2社の政策投資株式を縮減
- 2023年3月期～2026年3月期
  - ・ 配当政策：営業CF15億円程度を維持し、**当該中長計期間の1株あたりの配当金を下限60円とする**
  - ・ 政策投資株式の縮減の継続や、自己株式の消却を検討
- 創立80周年（2025年3月期）
  - ・ **記念配当を予定**

## (ご参考) IR活動への取組み①

IR活動内容	頻度	対応時期案	実施/予定
中期経営計画開示	5か年計画	2021年5月11日開示 2022年5月11日修正版開示	実施・継続
中期経営計画英文開示	5か年計画	2022年5月11日より実施	実施・継続
決算説明資料開示	毎四半期	2021年3月期末決算より実施	実施・継続
決算説明資料英文開示	毎四半期	2021年3月期末決算より実施	実施・継続
新聞・業界紙・IR専門誌等への 広告掲載など	適時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文新聞サウスチャイナモーニングポスト (記事掲載2021年6月26日)</li> <li>・ダイヤモンドZAI (記事掲載2021年8月20日)</li> <li>・JR品川駅にサインボード広告掲示 (広告掲示日2022年7月30日)</li> </ul>	実施・継続
各種展示会出展など	適時		実施・継続
アナリスト向け決算説明会開催	毎半期	毎年、6月・12月頃	実施・継続
アナリスト向けIRミーティング	随時		実施・継続
新製品・資本提携等発表	適時		実施・継続

# (ご参考) IR活動への取組み②



**どんな会社?**  
 自動車やゲーム機、スマートフォンやスマートデバイス向けに電子部品を製造する。また、センサーや抵抗器などの電子部品を製造する。2021年8月に「投資家向け企業紹介」として掲載された。

**IR**  
 帝国通信工業株式会社  
<https://www.noble-jpn.jp/>

**自動車やゲーム機の電子部品を製造 5Gなど新領域にも果敢に挑戦する!**  
 日本ならではの高性能な部品をつくり、納入先企業から高い評価を受けている。また、5Gなどの新領域にも果敢に挑戦している。

**何がブーム?**  
 5Gのブーム、スマートフォンの普及、ゲーム機の普及など。また、自動車やスマートデバイス向けの電子部品の需要が増えている。

**将来性は?**  
 5Gの普及、スマートフォンの普及、ゲーム機の普及など。また、自動車やスマートデバイス向けの電子部品の需要が増えている。また、社会課題解決や健康問題への貢献も期待されている。

**自動車向け部品**  
 自動車向け部品の製造。特に、センサーや抵抗器などの電子部品を製造している。

**ゲーム機コントローラー**  
 ゲーム機コントローラーの製造。特に、センサーや抵抗器などの電子部品を製造している。

**人気ゲーム機や自動車に多彩な部品が使われている**  
 人気ゲーム機や自動車に多彩な部品が使われている。特に、センサーや抵抗器などの電子部品を製造している。

**top interview**  
 抵抗器からセンサーへ 深化と進化を目指します  
 帝国通信工業株式会社 羽生満寿夫 (社長)

当社が製造している抵抗器は、自動車やゲーム機、スマートフォンなどに広く使われています。また、センサーや抵抗器などの電子部品を製造している。特に、5Gなどの新領域にも果敢に挑戦している。

## 電波新聞

2021年(令和3年)12月8日(水曜日)



**帝通工 筑波大発ベンチャーに出資 睡眠計測サービスを拡充**

帝国通信工業は7日、筑波大学発のベンチャー企業S.U.I.M.I.N.(スイミン、東京都渋谷区)との資本提携を発表した。第二者割当てで億円を出資。両社の提携で、スイミンがかねて手掛ける「睡眠計測サービス」の拡充を目指していく見込み。

帝国通信工業は、電子部品の印刷技術を用いた生体センサーを開発し、医療器向け事業の拡大を図っている。

一方、スイミンは睡眠を取り巻く健康問題



S.U.I.M.I.N.の藤原正明社長(左)と帝通工の羽生満寿夫社長

健康志向が高まる中、メンタルヘルスやメタボ抑制は「睡眠」と密接に関係するとされ、睡眠の質を簡単に高精度に測り、予防や早期治療に導く睡眠計測サービスが有望視され、社会貢献性の高いサービスとも目される。その計測には脳波測定用の生体センサーが使われる。

そこで両社は、相互の注力製品が補完することができると判断、資本提携を決めた。

技術を生かして眠りの質の向上などを図り、ヘルスケアにつながる「スリープテック」が注目されており、その一環になりそうだ。

2021年8月 ダイヤモンドZAI 2021年10月号(2021年8月20日発売)にて「投資家向け企業紹介」として掲載

2021年12月 電波新聞にて「資本提携」の掲載

# (ご参考) IR活動への取組み③

# NOBLE



**一瞬で我が家に帰れる!!**...そんなスイッチはありませんが、  
一步先ゆく製品開発にスイッチを入れています。

医療や非接触の分野にも注力

- スイッチ
- センサー
- 可変抵抗器
- 固定抵抗器
- ウェアラブルセンシングデバイス
- 非接触センサー

**NOBLE** 帝国通信工業株式会社  
自動車にも、家電にも、ゲーム機器にも、医療分野にも。  
小さな電子部品を通じて、大きな仕事をしています。

東証プライム 2024年8月に創立80周年を迎える電子部品メーカー  
<https://www.noble-j.co.jp/> **6763** か **帝通工** で検索



ものづくりへの真摯なこだわり  
選ばれる電子部品メーカーへ

- ゲーム・アミューズメント機器  
GAME / AMUSEMENT
- 自動車  
AUTOMOTIVE
- 医療・ヘルスケア機器  
MEDICAL / HEALTHCARE

家電など暮らしに身近な分野から  
高い信頼性が求められる自動車産業や医療分野まで  
時代のトレンドを捉えた製品開発

**NOBLE** サステナブルな未来へ 帝国通信工業株式会社 <https://www.noble-j.co.jp/> | 詳しくは「6763」または「帝通工」で検索!  
株式会社情報や公式サイトをご覧ください。車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

2022年8月 JR品川駅サインボード掲出

2021年9月 電車広告の掲載

# 中期経営計画（修正版）概要

## ● 経営方針

- ▶ 過去業績トレンドと中期経営計画の位置づけ
- ▶ 企業理念・長期ビジョン・行動指針
- ▶ 経営方針と中期経営計画の位置づけ
- ▶ 基本戦略（成長領域）

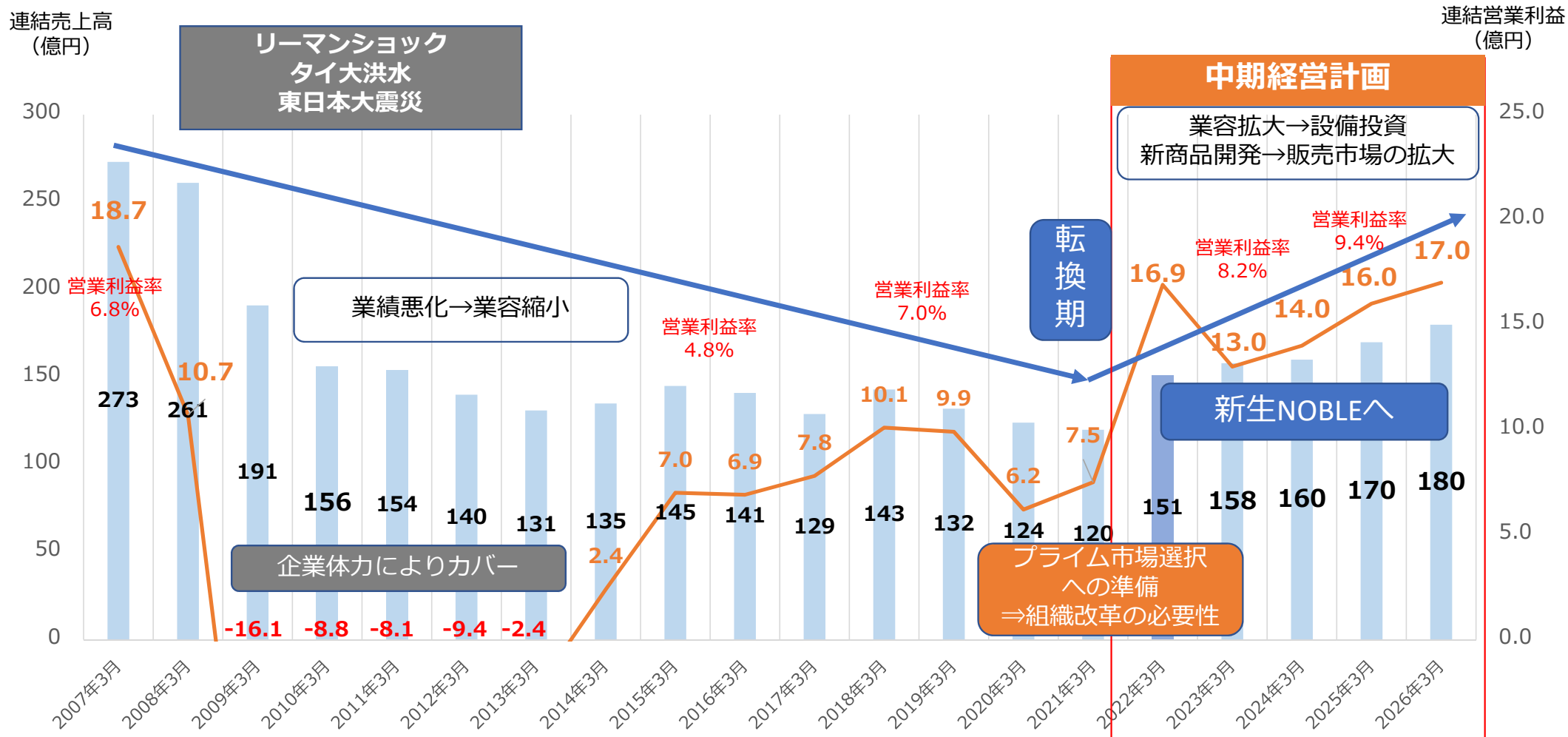
## ● 中期経営計画（修正版）

**2021年度実績を踏まえた一部修正計画※**

- ▶ 事業実績・修正計画目標①～③
- ▶ 主な投資実績・計画①～②
- ▶ 主な経営指標の実績推移・計画

※中期経営計画：2021年5月--初版  
2022年5月11日--修正

# 過去業績トレンドと中期経営計画の位置づけ



# 企業理念・長期ビジョン・行動指針

# NOBLE

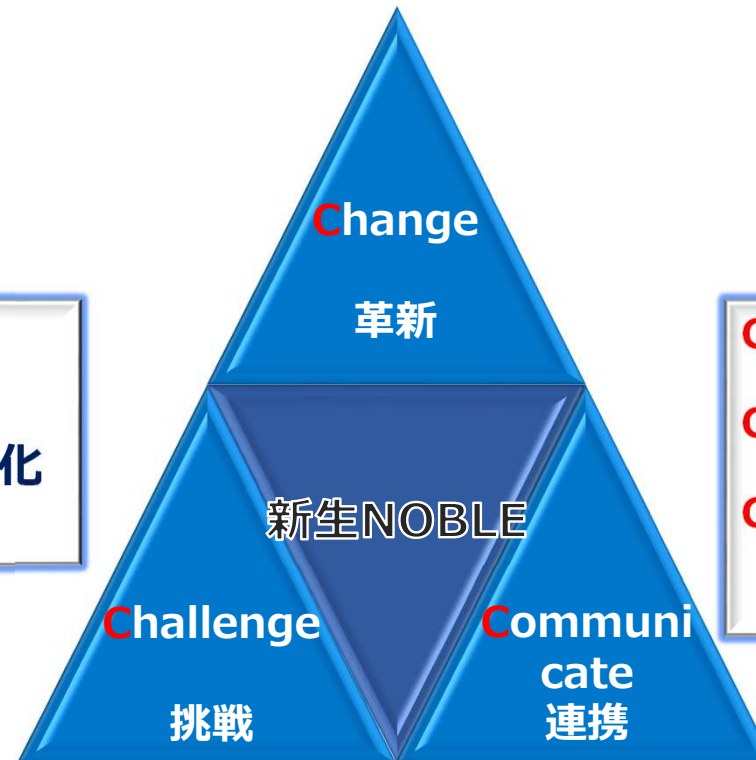
## 企業理念

帝通は電子部品の製造とサービスを通して  
世界のお客様に満足して頂ける仕事をいつも提供し続けることにより  
豊かな社会の実現に貢献します。

## 長期ビジョン

抵抗器のNOBLEから  
「新生NOBLE」への**深化と進化**

## 行動指針 (三つのC)



- C : Change**  
「NOBLE」は未来に向かって**革新**します
- C : Challenge**  
「NOBLE」は失敗を恐れず**挑戦**します
- C : Communicate**  
「NOBLE」はお取引様やグループ内の**連携**強化を図ります

# 経営方針と中期経営計画の位置づけ

長期ビジョン

抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

基本戦略

既存領域の拡大  
顧客ニーズを捉えた新製品展開  
新領域の確立

中期経営計画

今期 中期経営計画（2021～2025年度）

## 既存領域の拡大・新領域の模索

- ◆ コア技術の活用による新製品開発
  - チップ抵抗・非接触スイッチ等の開発
- ◆ 新技術領域の構築
  - ソフト・回路・微細加工領域の構築
- ◆ 販売力、マーケット拡販の強化
  - 新規営業・提案型営業の強化
- ◆ 品質の向上
  - 求められる品質基準への対応
- ◆ 生産性の向上・付加価値の向上

次期 中期経営計画（暫定）

## 新領域の確立

- ◆ 今期中計の取組の強化と、収益力の向上
  - 注力業界の動向を捉えた取組の強化
  - 現在の固定・可変抵抗器以外の製品・技術の確立
- ◆ 新業界への挑戦（公共・通信等）
- ◆ グローバル拠点の連携強化・拡大
- ◆ 生産性の向上・付加価値の向上

## 組織力の強化

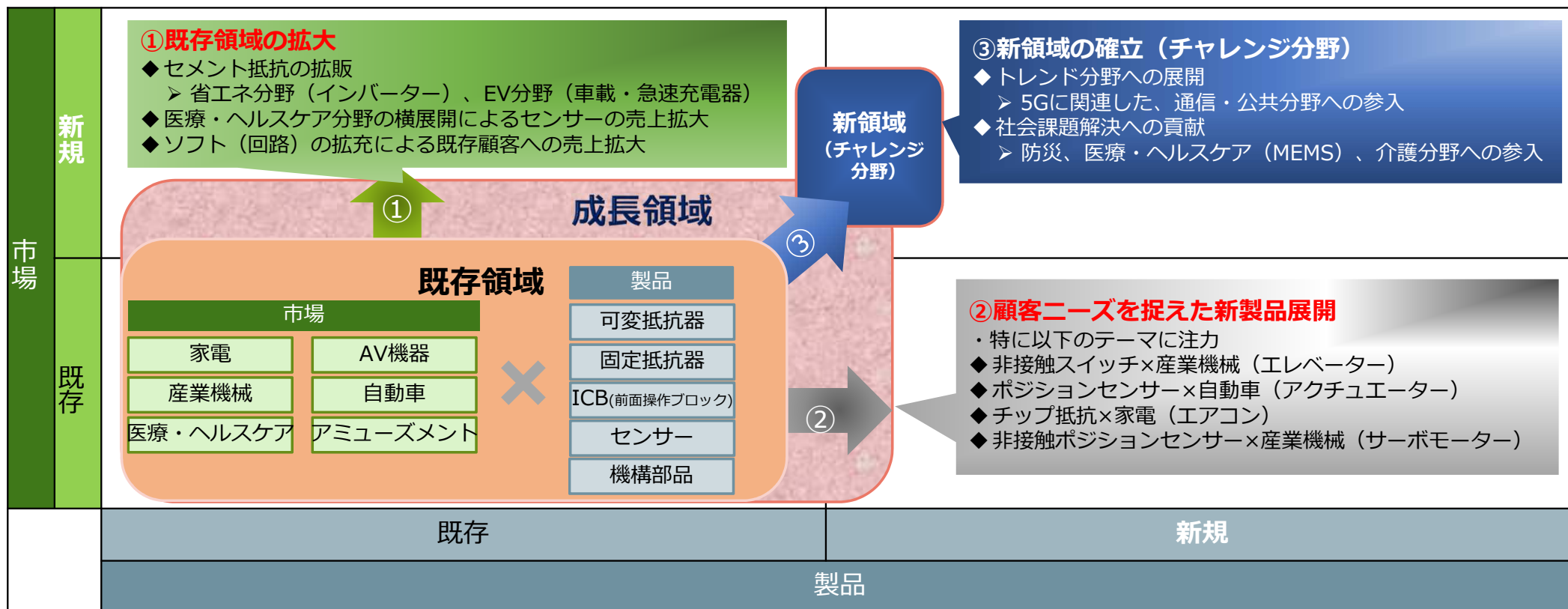
- ◆ 次世代へのグローバルな人材開発と育成、新卒・中途社員の積極採用
- ◆ コア技術・製造技術の技術承継
- ◆ 本社・工場への設備投資（BCP・ESGへの取組）



# 基本戦略（成長領域）

基本戦略

- ① **既存領域の拡大**：既存業界への製品の横展開を目指す（医療機器等）
- ② **顧客ニーズを捉えた新製品展開**：顧客業界のニーズ・トレンド（非接触・EV等）を捉えた新製品開発を行う
- ③ **新領域の確立（チャレンジ分野）**：トレンドや環境の変化に合わせた新製品開発により新規市場への展開を図る



① 既存領域の拡大

- ◆ セメント抵抗の拡販
  - 省エネ分野（インバーター）、EV分野（車載・急速充電器）
- ◆ 医療・ヘルスケア分野の横展開によるセンサーの売上拡大
- ◆ ソフト（回路）の拡充による既存顧客への売上拡大

③ 新領域の確立（チャレンジ分野）

- ◆ トレンド分野への展開
  - 5Gに関連した、通信・公共分野への参入
- ◆ 社会課題解決への貢献
  - 防災、医療・ヘルスケア（MEMS）、介護分野への参入

② 顧客ニーズを捉えた新製品展開

- ・ 特に以下のテーマに注力
- ◆ 非接触スイッチ×産業機械（エレベーター）
- ◆ ポジションセンサー×自動車（アクチュエーター）
- ◆ チップ抵抗×家電（エアコン）
- ◆ 非接触ポジションセンサー×産業機械（サーボモーター）

# 事業実績・修正計画目標① （ステップ毎の目標）

修正中計  
経営目標①

中期計画を3段階に分け、段階毎の売上高・営業利益の目標値を再設定

- 中計第2ステップ最終年度 **2023年度売上高:160億円**（修正+7億円）・**営業利益:14億円**（修正+2億円）
- 中計第3ステップ最終年度 **2025年度売上高:180億円**（修正±0億円）・**営業利益:17億円**（修正+2億円）

### 中計第1ステップ 2021年度

初年度計画

実績

売上高

132億円



151億円

営業利益  
(営業利益率)

9.0億円  
(6.8%)



16.9億円  
(11.2%)

既存領域の拡大

### 中計第2ステップ 2022~2023年度

2023年度当初計画

2023年度修正計画

153億円



160億円

12.0億円  
(7.8%)



14.0億円  
(8.8%)

新領域等への投資

### 中計第3ステップ 2024~2025年度

2025年度当初計画

2025年度修正計画

180億円



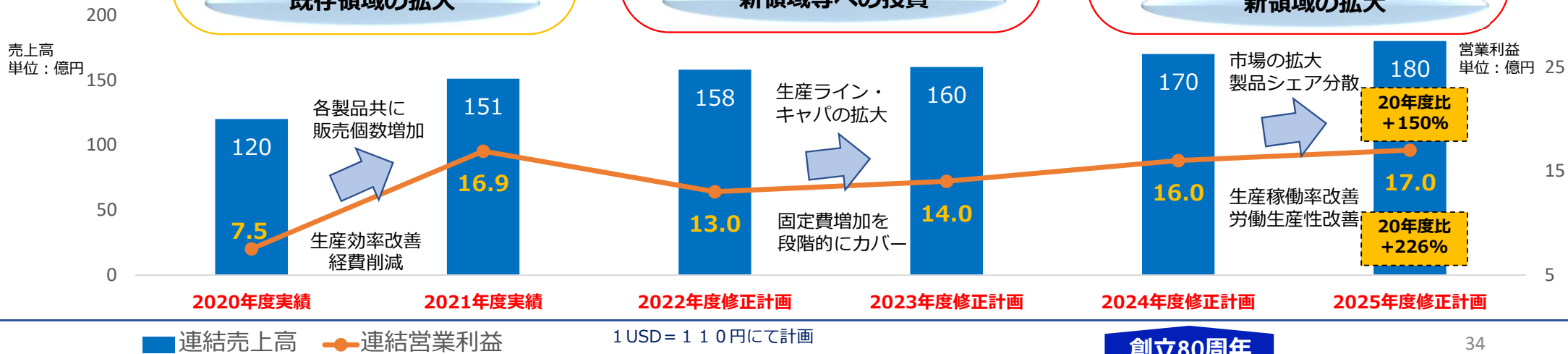
180億円

15.0億円  
(8.3%)



17.0億円  
(9.4%)

新領域の拡大



# 事業実績・修正計画目標② (セグメント別売上高)

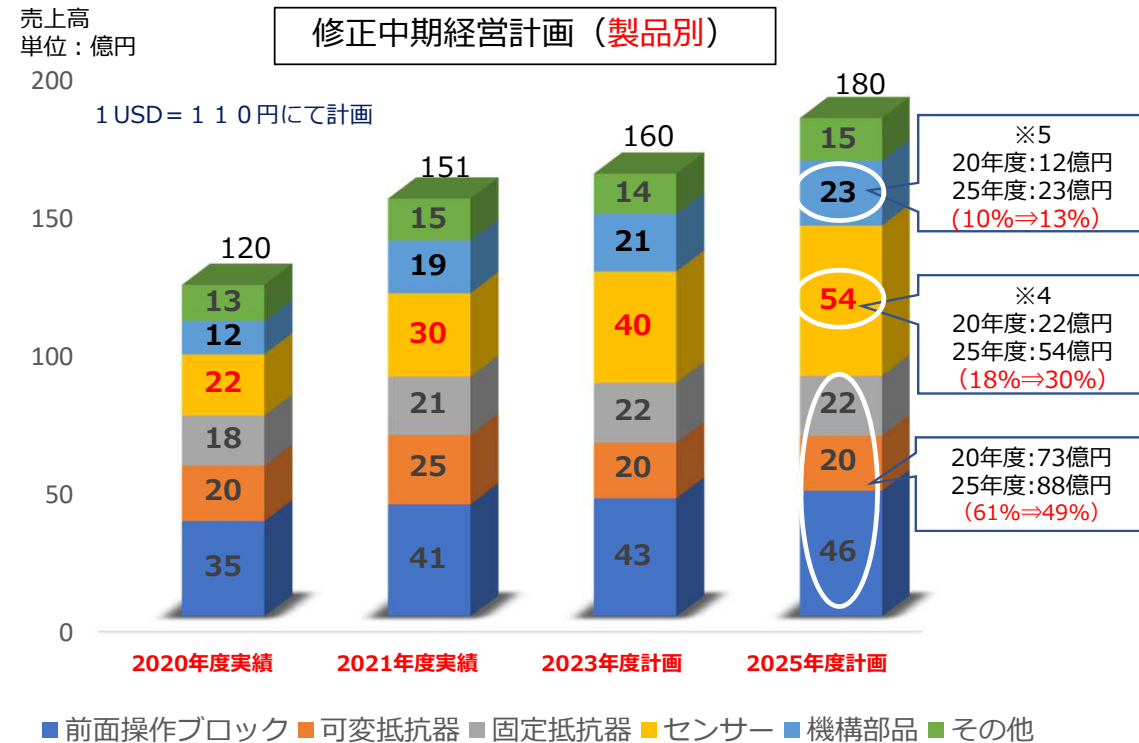
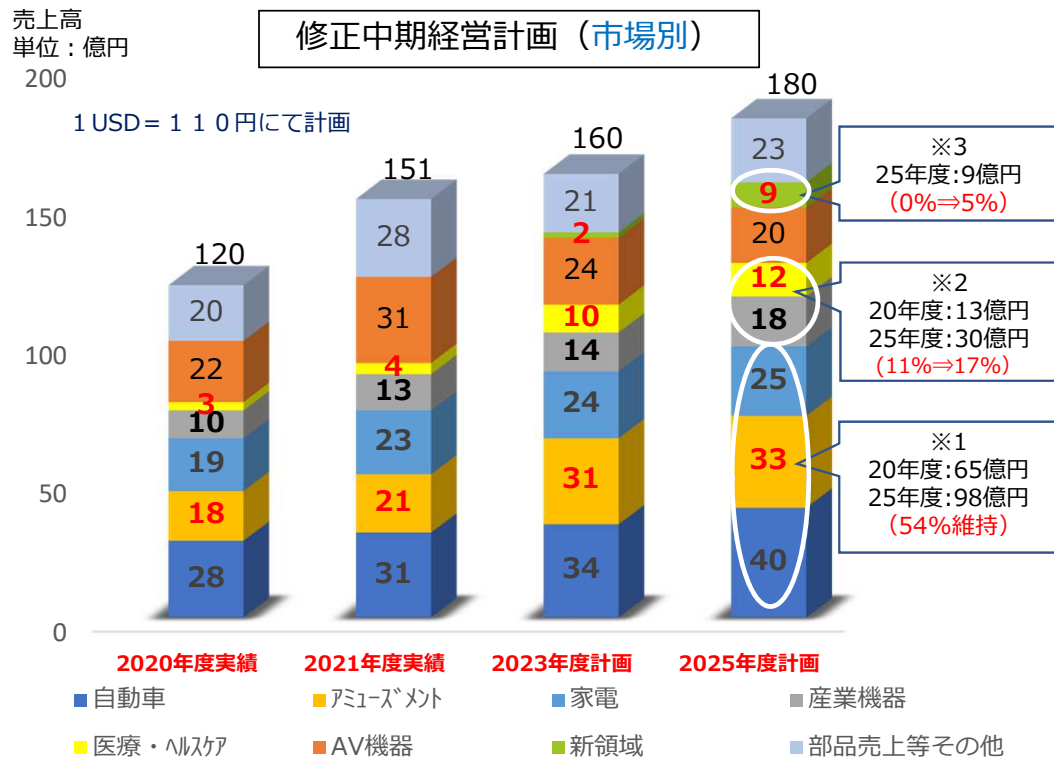


## ● 2025年度までの「市場別」目標

- 自動車、家電、アミューズメント：連結売上高の54%を維持 ※1
- 産業機器、医療・ヘルスケア：連結売上高の17%まで拡大 ※2
- 新領域：連結売上高の5%を達成 ※3

## ● 2025年度までの「製品別」目標

- センサー：主力商品化（増収基盤の柱） ※4
- 機構部品：外注取込みにより、連結売上高の13%まで拡大 ※5  
⇒主力「抵抗器シリーズ」からの分散化



# 事業実績・修正計画目標③ (セグメント別収益計画)



- 2025年度までの「市場別」目標
  - 自動車、アミューズメント：主力収益基盤としての位置づけ維持
  - 産業機器、医療・ヘルスケア：増収を背景とした収益強化  
⇒収益基盤の分散化

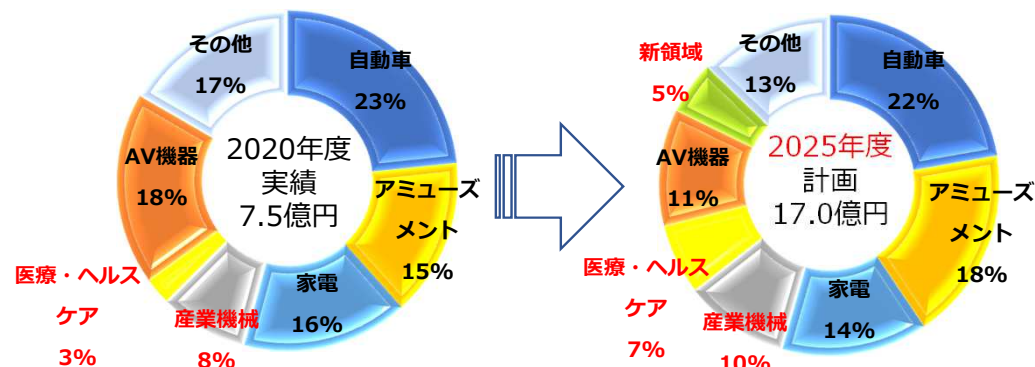
- 2025年度までの「製品別」目標
  - センサー：増収を背景とした収益強化
  - 機構部品：増収を背景とした収益強化  
⇒主力「抵抗器シリーズ」から「センサー」への移行

- 収益変動要因1：為替相場
  - ・国内外の生産・販売拠点・取り扱い通貨分散により影響を極小化  
⇒2021年度の円安影響は営業利益で+2億円程度  
(営業利益16.9億円の11.8%相当)

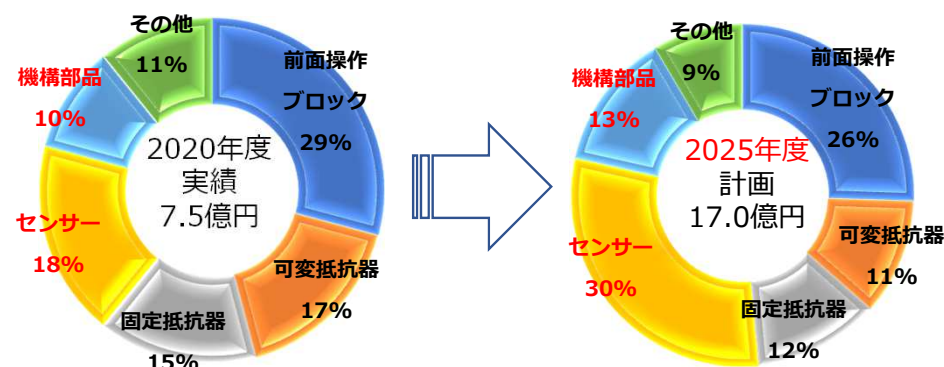
- 収益変動要因2：資材高騰
  - ・販売及び生産単価の定期的な検証により、価格見直し交渉を実施  
⇒2022年度は順次見直しにより反映予定
- 収益変動要因3：人員関係費や減価償却費等のコスト増
  - ・自動化・省人化・生産稼働率改善+働き方改革でカバー

ただし、過度な円安は資材高騰要因としてマイナス作用

市場別営業利益



製品別営業利益



# 主な投資実績・計画①（設備・研究開発費・出資等）



修正中計  
投資実績・計画  
（設備・研究開発  
費・出資等）

- 中計第2ステップ：設備投資＋研究開発費で**18億円/年程度**を計画⇒増産、新商品開発に注力
- 中計第3ステップ：BCP・ESGを念頭においた**工場増設等の追加投資**を軸に展開  
同時並行で資産の有効活用を踏まえ、人財育成・研究開発力の向上に資する  
新本社の建替えも検討
- 中計全般：出資・M&A等は随時検討し、主に**新領域の拡大に繋がる投資**を模索

投資実績・計画 (単位：億円)	過去実績		中計 第1ステップ	中計 第2ステップ		中計 第3ステップ	
	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画	2025年度 計画
1. 設備投資 (売上高設備投資率%)	<b>8.0</b> (6.4%)	<b>10.6</b> (8.8%)	<b>6.0</b> (3.9%)	<b>12.0</b> (7.6%)	・2023年度は営業CFをベースに2022年度 程度の投資を想定 ・BCPやESGを念頭においた工場増設や 機械設備の更新、新本社建替等を検討 ⇒SDGs・TCFDへの取組と連動		
2. 研究開発費 (売上高研究開発費率%)	<b>4.9</b> (3.9%)	<b>5.1</b> (4.2%)	<b>4.8</b> (3.2%)	<b>6.0</b> (3.8%)			
3. 出資・M&A等	-	-	<b>2.0</b>	随時検討		随時検討	
合計	<b>12.9</b>	<b>15.7</b>	<b>12.8</b>	<b>18.0</b>			
(営業CF)	11.9	4.0	17.8	15.0	16.0	17.0	18.0

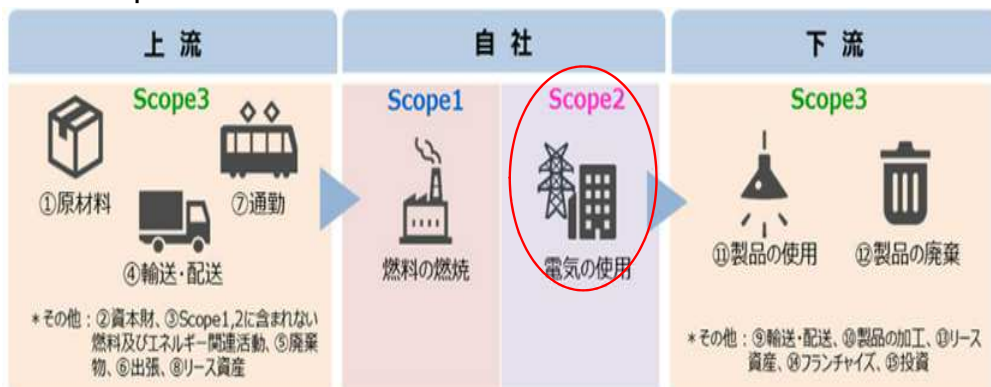
修正中計  
投資実績・計画  
(TCFD対応)

サプライチェーン排出量への対応状況 (Scope2※1) : **2022年度目標「2020年度比▲15%」**

- ・ 本社にて水力発電由来のグリーン電力の導入を開始  
⇒ 本社が排出するCO2 (Scope2、電力由来) の約30%の削減に相当
- ・ 当社赤穂工場にてCO2フリー電気の導入を開始  
⇒ 同事業所が排出するCO2 (Scope2、電力由来) の50%の削減に相当

※1 Scope1及びScope3への対応も含めた計画については現在検討中

### Scope2におけるサプライチェーン排出量の削減

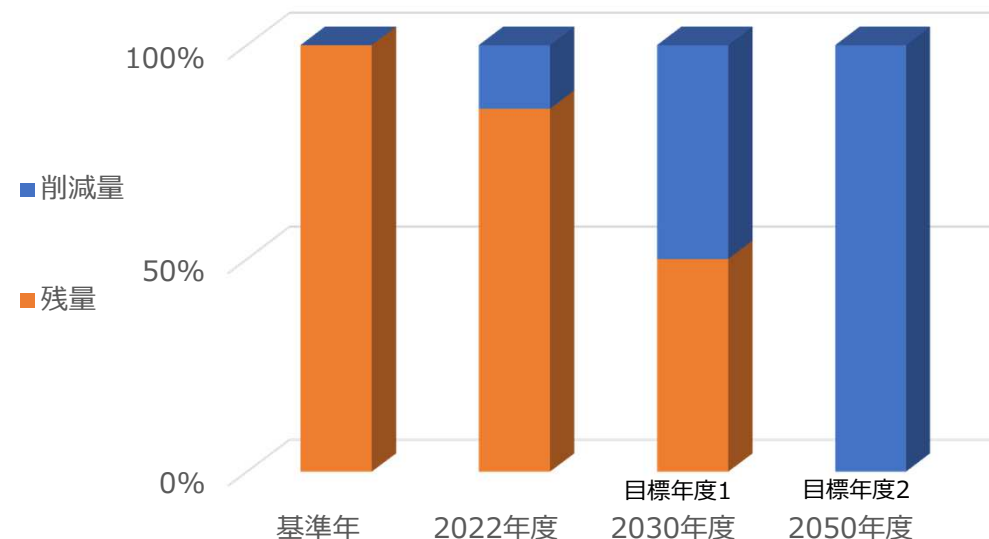


Scope 1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出  
(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope 2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3 : Scope1、Scope2以外の間接排出  
(事業者の活動に関連する他社の排出)

グループ全体のScope2におけるサプライチェーン排出量への削減目標



2023年以降の設備投資計画と併せ、具体的な削減計画・メド値を随時策定

# 主な経営指標の実績推移・計画

修正中計  
経営目標②

「営業収益・営業CF改善」⇒「適切な投資と株主への安定的な利益還元」⇒「社員への還元と自己資本の蓄積」の好循環により企業価値を高める

- 中計第2ステップ最終年度目標 **営業CF：16億円・ROE：4.7%・ROIC：4.2%**
- 中期第3ステップ最終年度目標 **営業CF：18億円・ROE：5.5%・ROIC：4.7%**

連結ベース	過年度			中計第1ステップ	4期平均	中計第2ステップ最終年度	中計第3ステップ最終年度
	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績		2023年度計画	2025年度計画
営業利益（億円）	9.9	6.2	7.5	16.9	10.1	14.0	17.0
営業CF（億円）	21.1	11.9	4.0	17.8	13.7	16.0	18.0
株主資本(億円)	204.9	201.8	205.5	215.6	-	230.0	246.0
配当金（円）	50	50	40	60	50	60以上	60以上
ROE(%)	4.4	▲0.4	3.5	6.8	3.5	4.7	5.5
ROIC(%) ※1	3.3	2.1	2.5	5.4	3.3	4.2	4.7
法定実効税率(%)	30.5	30.5	30.6	30.62	-	30.62	30.62
DOE (%) ※2	2.3	2.4	1.9	2.2	2.2	2.1程度	2.0程度
配当性向 (%)	51.5	-	52.1	37.1	46.9 (3期平均)	47.0程度	37.0程度

平均値  
底上げ

※1 ROIC (%) : 投下資本利益率=営業利益×(1-実効税率) / (株主資本+有利子負債) ×100

※2 DOE (%) : 株主資本配当率=配当金支払額/株主資本×100

## ●業績ハイライト

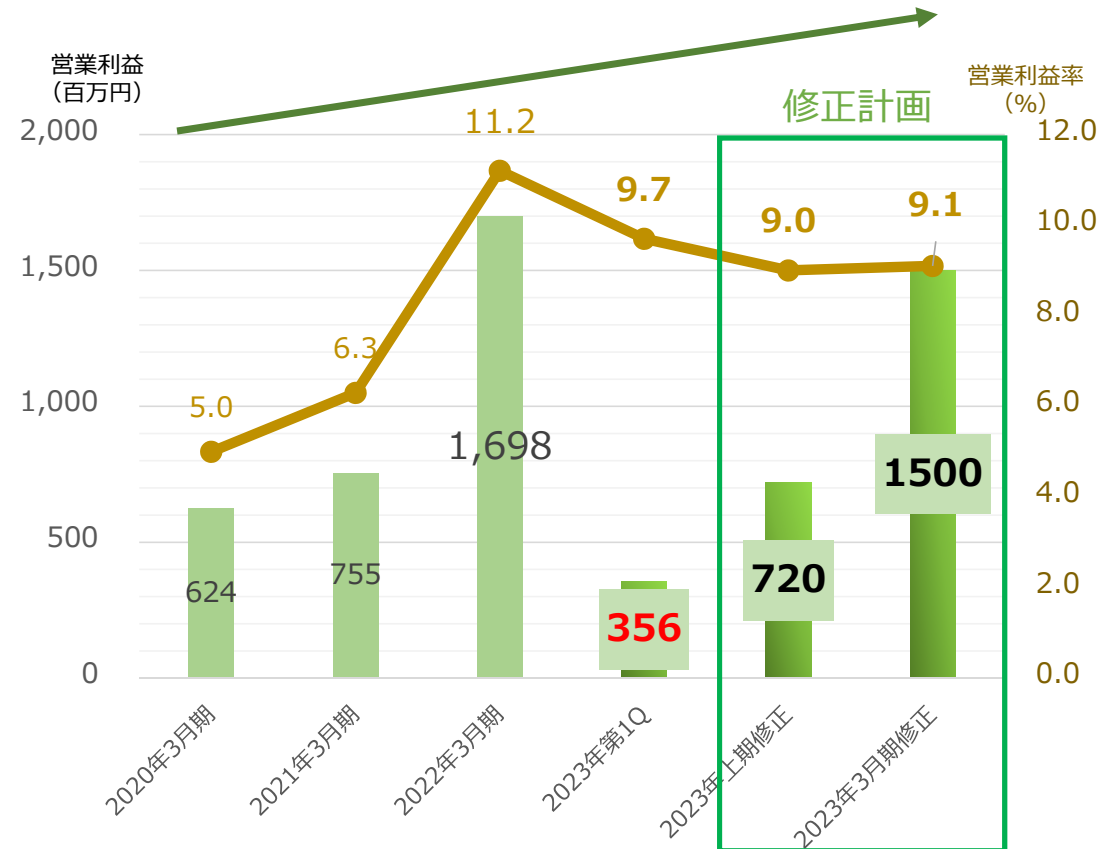
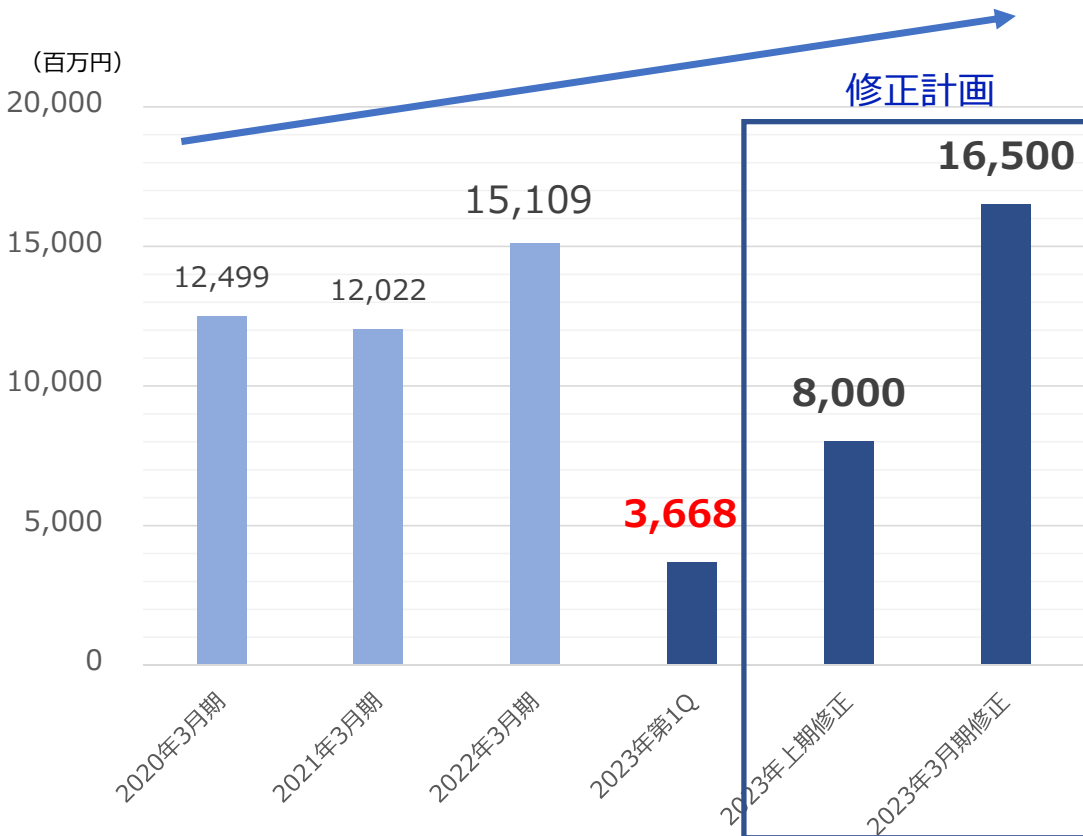
**NOBLE**

- ▶ 過去業績と2023年3月期予想
- ▶ 製品別・市場別売上高2023年3月期業績予想



## 売上高

■ 営業利益 ● 営業利益率



# 市場別・製品別売上高の2023年3月期業績予想

2022年3月期



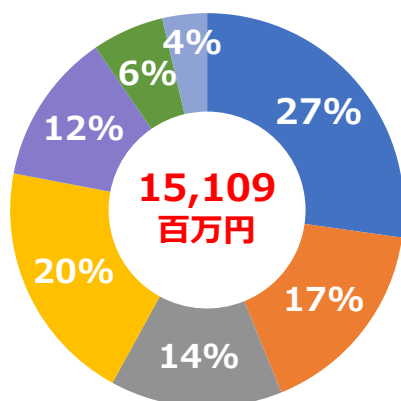
「市場別」売上高

- AV機器
- 自動車
- 家電
- アミューズメント
- 産業機器
- 医療・ヘルスケア
- その他

2023年3月期予想



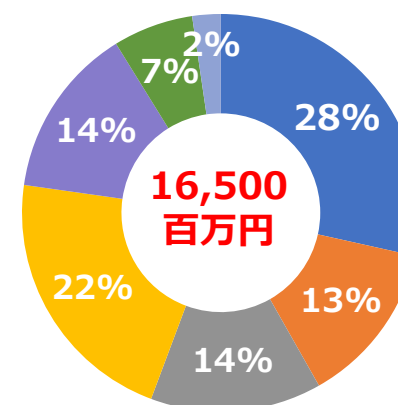
2022年3月期



「製品別」売上高

- 電子部品事業・前面操作ブロック
- 電子部品事業・可変抵抗器
- 電子部品事業・固定抵抗器
- 電子部品事業・センサー
- 電子部品事業・機構部品
- 電子部品事業・その他の電子部品
- その他事業

2023年3月期予想





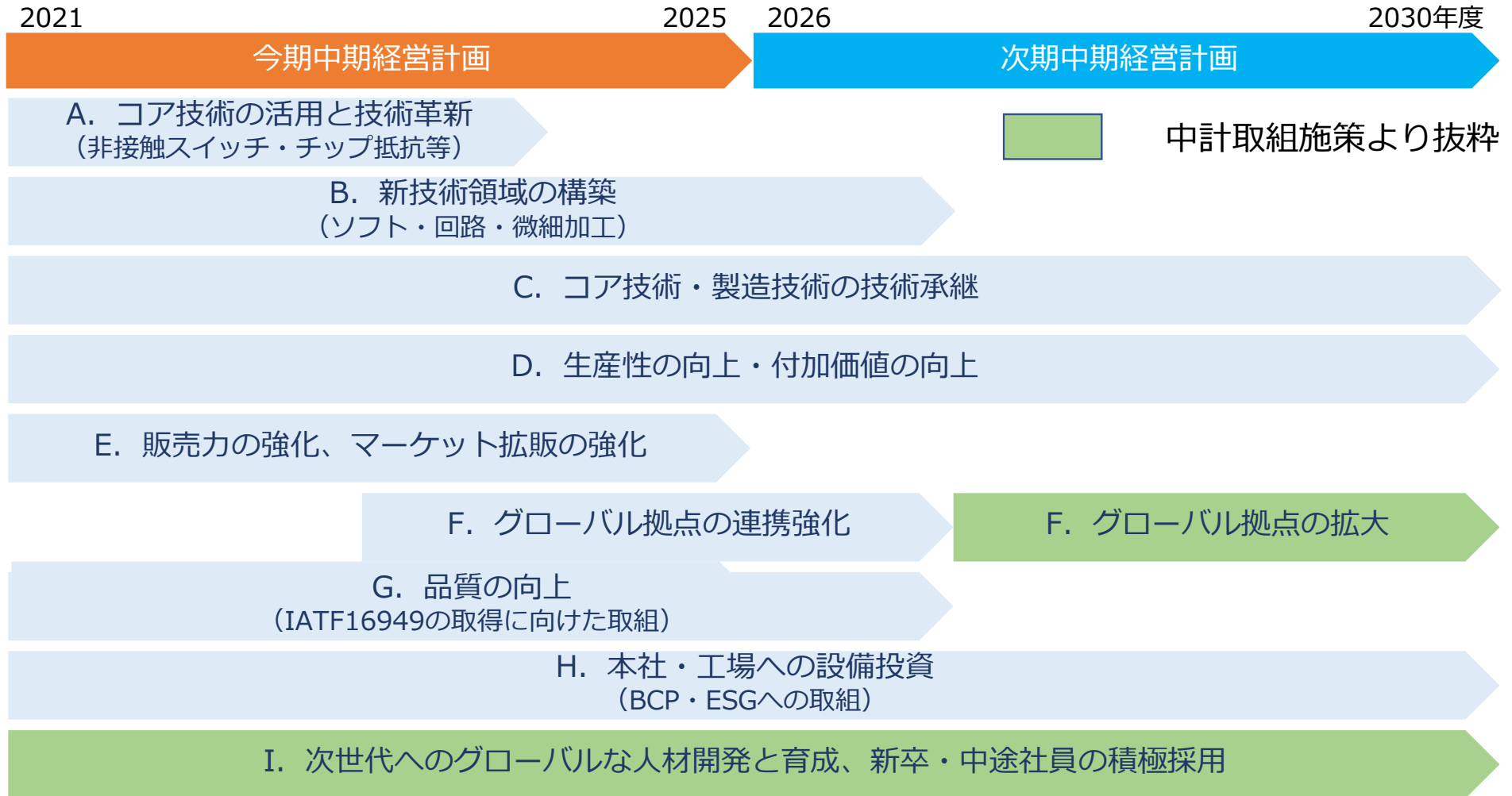
以上をもちまして、2022年9月の個人投資家向け説明会を終わらせていただきますが、引き続きまして、質疑応答に入りますので、宜しくお願い致します。

帝国通信工業株式会社 代表取締役社長 羽生 満寿夫

## 補足資料

- ▶ 中期経営計画取組施策（一部抜粋）
- ▶ SDGsへの取組
- ▶ 2022年3月期連結貸借対照表
- ▶ 連結キャッシュフロー

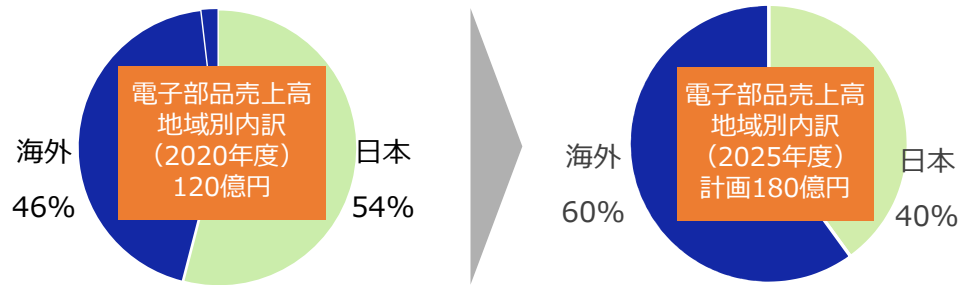
# 取組施策の全体像



# F. グローバル拠点の連携強化・拡大

- 売上高における海外比率46%を2025年度には60%とすることを見込む。
- 海外拠点間の連携を強化することで、国を跨いだ案件の横展開を行う。顧客企業の設計部門や製造部門の動向等からグローバルにおける注力地域を選定し、グローバル拠点の見直し・拡大を行う。

海外売上高比率の向上

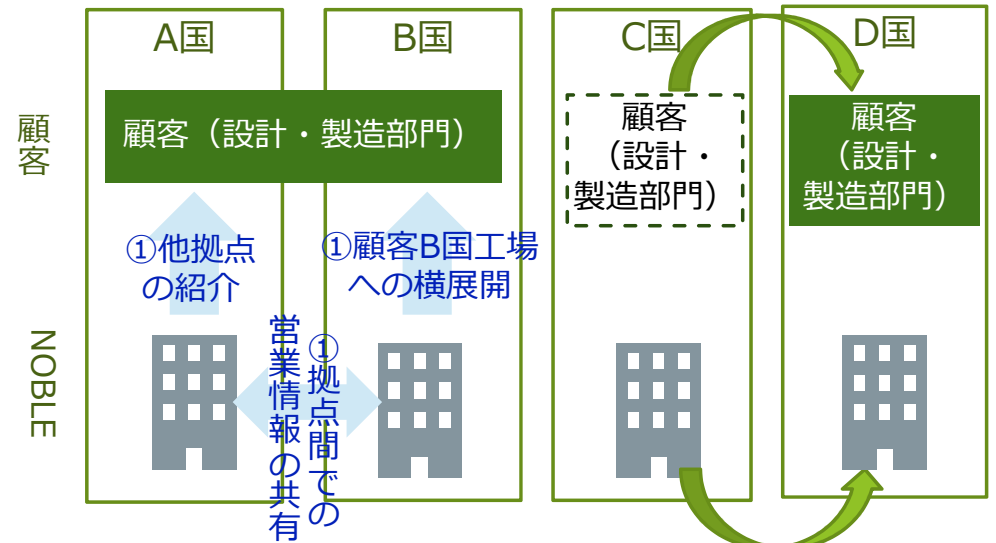


製造拠点と販売拠点の連携した展示会やオンライン展示会等に参加



- ①海外拠点間の連携の強化
- ②グローバル拠点の見直し・拡大

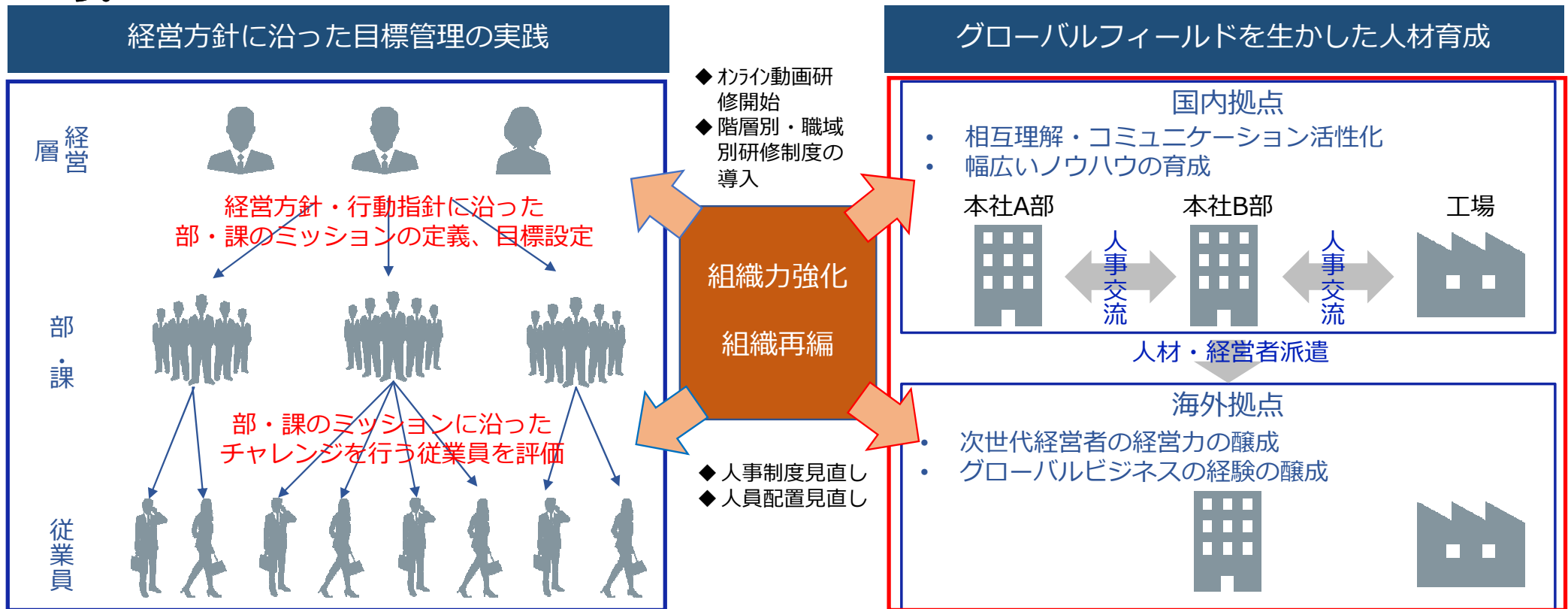
②顧客設計・製造部門の移転



②顧客設計・製造部門の動向を注視した注力地域の選定、拠点の拡大

# I. 次世代へのグローバルな人材開発と育成 NOBLE

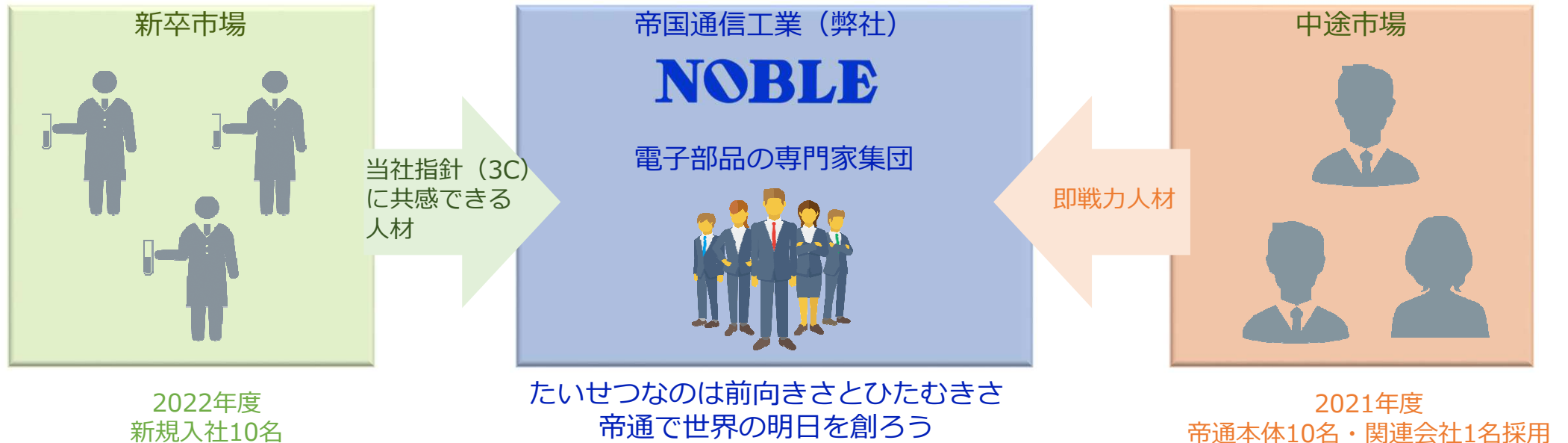
- 経営方針や3つの行動指針に即した目標管理体制を構築し、方針や指針に即した取組を行った従業員が評価される組織風土を醸成することで、従業員の意識改革を行う。
- 国内外、工場・本社との人事交流を活発化し、当社のグローバルフィールドを活用した人材育成を行う。



## I. 新卒・中途社員の積極採用

- 新製品開発や販売力の強化、技術承継を目的として新卒・中途社員の積極採用を行う。
- 新卒採用は理系人材を中心に、中途採用は即戦力人材を強化する。

### 当社の採用方針



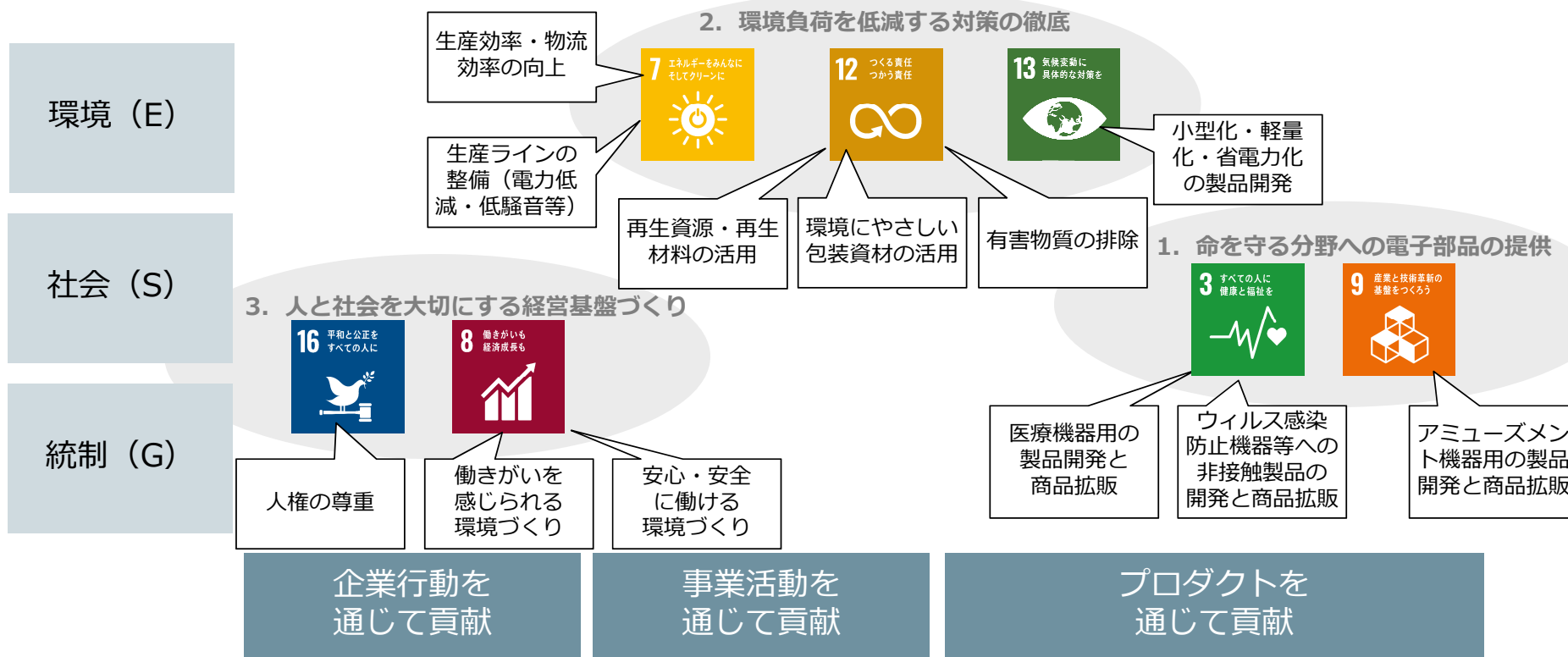


# SDGsへの取組



当社は、SDGsへの取り組みとして「3つの柱」を掲げている。

1. 命を守る分野への電子部品の提供
2. 環境負荷を低減する対策の徹底
3. 人と社会を大切にする経営基盤づくり



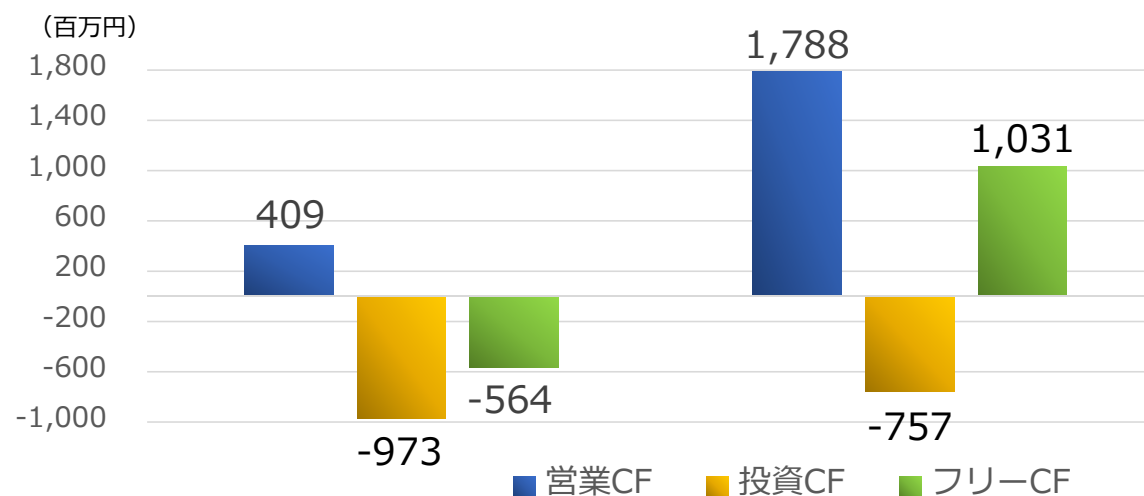
(百万円)

		2021年3月期	2022年3月期	増減
資産	流動資産	15,846	17,811	1,965
	固定資産	11,423	11,275	△147
	合計	27,270	29,087	1,817
負債	流動負債	2,360	2,894	534
	固定負債	1,846	1,845	△1
	合計	4,206	4,739	533
純資産 合計		23,063	24,348	1,285
負債純資産 合計		27,270	29,087	1,817

▶ 流動資産：現預金（739百万円）、商品及び製品（400百万円）の増加等

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	409	1,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△973	△757
フリーキャッシュ・フロー	△564	1,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467	△648
現金及び現金同等物の期首残高	7,888	6,842
現金及び現金同等物の期末残高	6,842	7,510

- 営業活動：税金等調整前当期純利益（2,032百万円）
- 投資活動：有形固定資産の取得（592百万円）等
- 財務活動：配当金の支払い（492百万円）等





# NOBLE

## 帝国通信工業株式会社

本資料に記載されている将来の業績見通し及び予測につきましては資料作成時点における当社の判断によるものであり、外部環境の変化に伴う潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため、様々な要因による経営環境の変化に伴い、実績が本資料に記載された見通し等と大きく異なる可能性があります。

お問合せ先：	帝国通信工業株式会社 経理室
TEL:	044-422-3831
E-Mail:	ir-info@ho.noble-j.co.jp
URL:	<a href="https://www.noble-j.co.jp/">https://www.noble-j.co.jp/</a>